

平成29年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(地域創生・市町村枠)

(相双地方振興局)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
1	新規	交流・定住	旧避難指示区域帰還促進事業	南相馬市	ハード	4,987	3,691	旧避難指示区域への帰還等を促進するため、旧避難指示区域内で現在空き家となっている「小高病院の職員公舎」を改修し、一定期間又は週末等の余暇を利用して短期滞在できる住宅を整備するもの。	H29.4.3～H30.3.30	南相馬市	復興関連事業
2	新規	教育・文化	ならはの復興を担うこども外国語教育支援事業	檜葉町	ソフト	9,640	7,230	政府からの避難指示が平成27年9月5日に解除された檜葉町では、平成29年度より檜葉町内での学校を再開するため、学校再開検討委員会を設置し、魅力ある学校の再生について検討している。檜葉町の教育として、外国語教育の充実とICT機器環境整備を図り、他の自治体との差別化、さらには檜葉独自の教育プログラムを構築することで、町の復興を担うこどもたちを育むこととする。	H29.4.3～H30.3.31	檜葉町	復興関連事業
3	新規	交流・定住	富岡町帰還促進事業	富岡町	ソフト	5,003	3,752	帰還を希望する帰還困難区域に居住していた町民や自宅を滅失又は解体した町民、新たに本町に居住しようとする者への住宅確保を促進させる必要があるため、空き地及び空き事務所等の物件情報を登録いただき、それを広く提供する「空き家・空き地バンク」を設置し、本町に住もうとする方々の住宅確保や町内の不動産の利活用に貢献しようとするものである。	H29.4.1～H30.3.30	富岡町	復興関連事業
4	継続2	交流・定住	川内村帰還等促進事業	川内村	ソフト	1,717	1,287	川内村への帰還等を各段階毎にサポートするトータル的な事業。(情報収集段階)帰還希望者等向け専用ホームページの構築(交流段階)川内村を舞台としたフォトコンテスト開催による復興情報発信(帰還・移住段階)就職サポートを含む相談体制の整備(帰還・移住後)地域住民との交流イベント開催など	H29.4.1～H30.3.30	川内村	復興関連事業
5	継続2	交流・定住	住宅支援による浪江町帰還促進事業	浪江町	ソフト	8,778	6,583	町内の多くの空き家を活用し、住宅が長期避難による劣化等により、新たな住まいの確保が必要な町民等の住まいとして提供することで、帰還・移住の受け入れ体制を整える。また、町民の住宅修繕相談体制を整え、自宅の修繕による帰還者の住環境整備をはかる。これらの取組みにより、「町民の帰還」と「移住者」の増加を図り、町の居住人口の増加に繋げる。	H29.4.1～H30.3.31	浪江町	復興関連事業
6	継続2	教育・文化	ICT活用教育による復興人材育成事業	新地町	ソフト	13,783	10,000	○浜通りの復興を担う人材を育成するため、21世紀を生き抜く力を育てるため、ICT機器を導入し、学びの質を高める取組を行う。(学校への電子黒板、学習用ソフトウェアの整備など)	H29.4.1～H30.3.31	新地町	復興関連事業
7	継続2	情報発信	飯館村 記録と伝承、情報発信事業	飯館村	ソフト	22,680	10,000	東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故等により、全村避難を余儀なくされた飯館村の当時から現在に至るまでの、混乱と苦悩、復興への動きを風化させることなく震災記録誌として広く情報発信する。また、この情報発信を続けることで、大震災及び原発災害を風化させることなく、災害当初に立ち返り見直すことが出来ると共に、震災から復興へ向かう飯館村の姿を伝えていくことが出来る。	H29.4.1～H30.3.27	飯館村	復興関連事業
累計						66,588	42,543				